



生活クラブ風車



夢風News

Vol.10

●発行 2013. 4. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

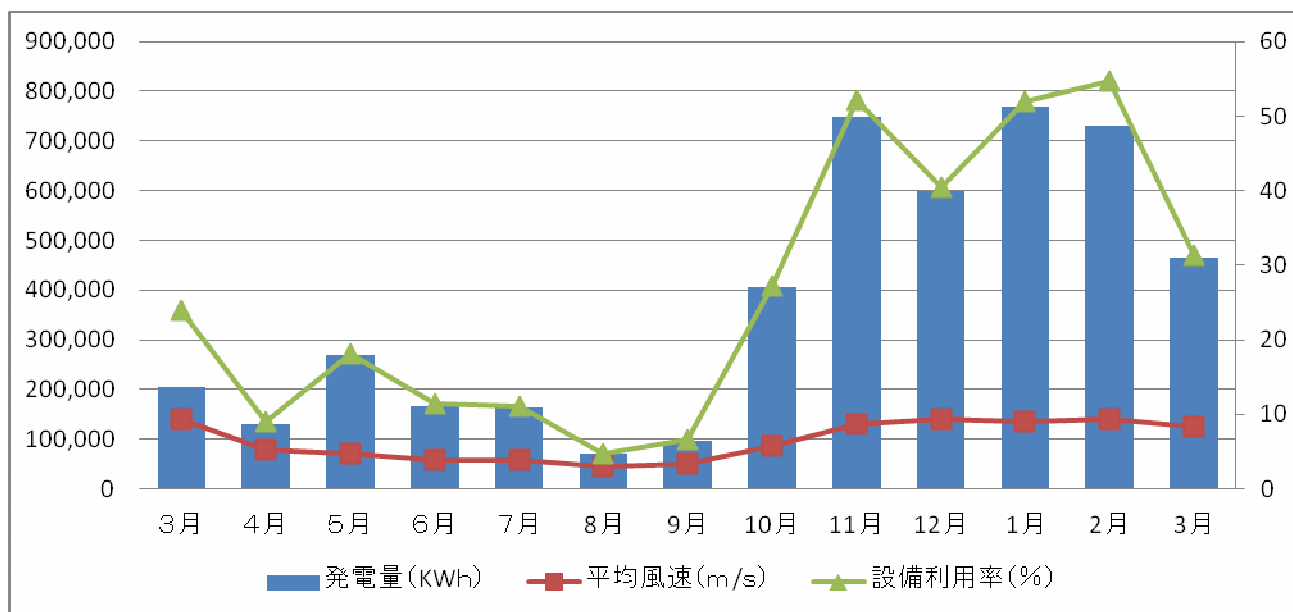
●発行責任者 半澤彰浩 (代表理事) ●編集責任者 鈴木伸予

■ 風車の発電実績 ■

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
3月	206,112	9.3	24.0	10月	405,211	5.8	27.3
4月	129,551	5.2	9.0*	11月	748,652	8.7	52.2
5月	269,955	4.8	18.1	12月	597,756	9.4	40.4
6月	165,489	3.9	11.5	1月	769,377	9.0	52.0
7月	164,806	3.8	11.1	2月	731,341	9.4	54.7
8月	71,746	3.0	4.8	3月	465,516	8.3	31.4
9月	96,132	3.4	6.7				

*4/4~4/8までデータが欠損しておりそれが計算に反映していなかったため、設備利用率を11.5から9.0に修正した

- ・3月20日で稼働1年を迎えました。3月も平均風速8.3mと風況が良く、設備利用率31.4%となりました。
- ・風車の1年次点検を実施しました。この点検でギアボックス（増速機）に一部不具合が見つかりました。運転に支障をきたすものではありませんが、現在、定格出力を落として運転しています。



■ 2012 年度年間発電実績報告 ■

総発電量(kWh)	平均風速(m/s)	稼働率(%)	設備利用率(%)
4,615,532	6.2	92.9	26.5

・2012 年度 4/1～3/31 までの総発電量は 4,615,532kWh で、計画 4,721,000kWh に対し、97.8% の実績となりました。

・年平均風速は 6.2m、年間稼働率 92.9%、年間設備利用率 26.5%となりました。

＊年間設備利用率：4,615,532kWh ÷ (1990 (設備容量) × 365 日 × 24 時間) × 100 (%) = 26.5

%



■ 2 年目を迎えた生活クラブ風車 ■

一般社団法人 グリーンファンド秋田

代表理事 半澤彰浩 (生活クラブ神奈川常務理事)



生活クラブ風車は昨年 3/20 に稼働し 2 年目を迎えました。昨年 1 年間の発電量は約 462 万 kWh (一般標準世帯の約 1300 世帯分) で、ほぼ当初計画通りの発電実績を残すことができました。

これは、地元であるにかほ市のみなさまを始めとして様々な関係者のおかげであると認識しております。改めて感謝を申し上げます。

「風車」は、風はもちろんですが、たくさんの関係当事者によって「人」で回すということを実感した1年間でもありました。昨年4月の爆弾低気圧の通過による被害からスタートし、様々の気候変動による影響を「人」の迅速な対応によって解決してきたからこそ当初計画を達成できました。風車も人間と同じように体調が悪くなることもあります。そのケアこそが重要です。また昨年は稼働をお祝いし、5/11 にかほ市で地元の方たちと生活クラブ組合員を始めとしたおおぜいの関係者による竣工式、記念フォーラムの開催、首都圏生活クラブによる「にかほ市特産品」の取り組み、6/30 には横浜において約400人の参加による記念フォーラムなどを開催し、こちらも「人」同士の交流の一歩になったと思います。

国では電力システム改革専門委員会の報告を受けて、①広域系統運用の拡大②小売及び発電の全面自由化③法的分離の方式による送配電部門の中立性の一層の確保という3つの柱を中心とした「電気事業法の一部を改正する法律案」が閣議決定されました。実施時期などに課題がありますが、私たちがめざしている市民一人ひとりが「エネルギーを選択できる社会づくり」へつながることとして捉えます。また当法人の母体組織である生活クラブ東京、神奈川、埼玉、千葉では共通構想としてエネルギーの使用を「減らす」、自然エネルギーを「つくる」、自然エネルギーを選択して「使う」の3つの構想を柱とした「自然エネルギー社会づくりにむけた構想」を決定し、2013年度からその具体化がすすんでいきます。その構想の実現を共にすすめることと、生活クラブ風車の発電事業の管理強化、にかほ市との連携をよりすすめるために、当法人の東京オフィスを4/1から開設しました。

2013年度は生活クラブ風車稼働1周年記念イベント、にかほ市特産品の生活クラブにおける取り組み、協議会の設置など生活クラブ風車の地元である「にかほ市」の市民のみなさまとの交流、連携をより積極的に広げる年にしたいと考えております。

今年度もぜひよろしくお願ひ申し上げます。



「ここから始まるエネルギー革命」～東京オフィスにて。右から荒川、半澤、鈴木、浜田～

2013年4月より一般社団法人グリーンファンド秋田「東京オフィス」を開設しました。

一般社団法人 グリーンファンド秋田 東京オフィス
住所：〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-4-11 双葉ビル 2 F

■グリーンファンド秋田の職員を紹介します■



- 浜田有士（はまだゆうし） 1977年1月生まれ（36歳）
- 4人家族（長女3歳、長男9ヶ月）
- 2003年4月、生活クラブ・神奈川に入職
 - ・港南センター勤務（6年）
 - ・ユニオン政策調整部勤務（4年）
 - ・2009年より環境政策、生活クラブ風車建設に係わる。
- 担当業務（事業部長）
電力需給管理業務、省エネ推進業務、東京オフィス総務業務他

- 荒川展道（あらかわのぶみち） 1976年4月生まれ（37歳）
- 4人家族（長女3歳、長男1歳）
- 2002年4月、生活クラブ千葉に入職
 - ・松戸、ベイ、佐倉センター勤務（計8年）
 - ・本部組織部勤務（3年）
 - ・2010年より環境政策、生活クラブ風車建設に係わる。
- 担当業務（事業開発部長）
自然エネルギーの普及推進、生活クラブ風車の事業・管理他



生活クラブ風車Q&A

Q：風車の「定格出力」ってどういう意味？

A：火力発電や原子力発電、水力発電などは、運転を始めるとほぼ一定の出力（定格出力）で発電します。一方、風力発電の場合は、風速12～14m/sで最大出力になるように設計されています。風車の定格出力はこの最大出力をさします。夢風の建設地の平均風速は6.2m/sでしたように、12mを超える風はあまり吹きません。風車はほとんど定格出力より小さな出力で運転しています。（風速12m/sで定格出力の風車の場合、6m/sの時は定格出力のおよそ1/8程度の出力となります。）

Q：設備利用率って何？

A：風車は風のエネルギーによって発電しますが、その風車が良く働く風車かどうかを判断する基準に設備利用率（Capacity Factor）があります。年間設備利用率は、その風力発電装置が、1年間にフル発電能力（定格出力）で発電した時の出力に対する、実際の発電量の比率を言います。

（年間設備利用率%：年間実発電量÷（発電能力/基×365日×24時間）×100）

一般的に風力発電事業は設備利用率22%以上が採算分岐点と考えられています。